

1

花王株式会社

各社の考え方

① 算定を行う
背景・目的

- 全社のライフサイクルアセスメント（LCA）を実施し、ホットスポットがScope3であることが判明。その結果を基に、2009年に「花王環境宣言」を発表し、製品ライフサイクル全体のCO2排出量および水使用量を削減する目標を公表。
- 上記目標の進捗状況を把握し、削減活動を推進するため、個別製品並びに全社のライフサイクルCO2排出量、使用段階の水使用量を算定している。

② 算定結果の
活用方法

- 製品開発において、LCAを活用している。
- “いっしょにe c o”マーク（製品環境ラベル）の表示基準の要件にライフサイクルCO2排出量の低減を定めている。
- 顧客からの個別商品の環境負荷の問い合わせ時に利用。
- サステナビリティデータブックで上記目標進捗状況を社会に報告、花王エコラボミュージアム、各種環境展示会での活動紹介、および各種アンケートへの回答対応。

③ 算定のメリット

- バリューチェーンに渡り環境負荷を「見える化」することで、適切な地球環境保全につなげることができる。ホットスポットを顕在化することにより、有効な対策が可能。
- リスクの回避、事業機会の創出にもつながる。
- 解析の結果、使用段階の負荷が大きいことが判明。使用段階の環境負荷を低減できる製品を開発・提供している。このような、お客さまと“いっしょにe c o”に加え、ビジネスパートナーや社会と“いっしょにe c o”を掲げ、ライフサイクル視点の取組みの展開につなげている。

④ 社内の
算定体制

- 個別製品及び全社のL C Iデータを計算する社内システムにより算定。約1万の製品データがデータベース化されており、社内各種データベースとのリンクにより登録作業の効率化を図っている。
- 製品開発担当者は上記システムの保有データを利用して開発製品のL C Aを実施し、製品開発活動に活用している。

2

花王株式会社

各社の考え方

⑤ サプライチェーン 排出量の削減に 向けて

- 原材料調達段階については、製品のコンパクト化、容器の軽量化、詰替え化による材料節減等
で対応。“いっしょにe c o”の一環で、サプライヤーとの協働取組みの重要性も認識。
- 製造段階については、工場・事業場の省エネ等各種削減活動を実施。
- 使用段階については、使用段階の負荷を低減する製品を開発・提供することで対応。例えば1回
すすぎが可能な衣料用洗剤の提供。
- 廃棄段階については、容器の軽量化、つめかえ化による材料削減等に加え、バイオ原料導入等
を進めている。

⑥ サプライチェーン 排出量算定の 課題

- 社会全体の課題として、誰もが
容易にL C Aを実施できるよう、
計算ルールやデータベースの
整備、計算ツールの普及等が
挙げられる。



⑦ その他 (任意)

- サプライヤーに対し、主な原材料のL C Iデータの提供をお願いし、L C Iデータの整備・精緻化
に努めている。

3

花王株式会社

カテゴリ	算定方法 ※算定対象期間：2022年1月～2022年12月	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料投入量 	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライヤー調査結果、外部データベース、文献値、産連表の原単位からの換算値
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資額 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」（環境省、経済産業省）
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> ● 購入量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」（環境省、経済産業省）
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料投入量 ● 製品量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ法・温対法の算定・報告・公表制度の電気・燃料に対する排出係数、外部データベース等
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> ● 排出重量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」（環境省、経済産業省）
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> ● 社員数 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」（環境省、経済産業省）

4

花王株式会社

カテゴリ	算定方法 ※算定対象期間：2022年1月～2022年12月	
	活動量	原単位
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 社員数	● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)
カテゴリ8「リース資産(上流)」	● スcope1,2に含む	●
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	● 輸送製品量	● 花王算定
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 販売製品量	● 花王算定
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 独自シナリオ設定	● 省エネ法・温対法の算定・報告・公表制度の電気・燃料に対する排出係数、外部データベース等
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 独自シナリオ設定	● 外部データベース、文献値
カテゴリ13「リース資産(下流)」	● 該当活動なし	●
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当活動なし	●
カテゴリ15「投資」	● 投資金額(持ち株分を対象)	● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)
「その他」	●	●

5

花王株式会社

サプライチェーン排出量算定結果

